新市場開拓プロジェクト事業のうち

品目団体等と連携した輸送リスク管理推進緊急実証事業

【令和６年度補正予算額　65百万円】

＜対策のポイント＞

リスク低減した輸送方法の実践等による**リスク管理を推進**するため、認定品目団体や調査会社等が連携し、輸送中における腐敗や品質劣化等の事故要因に係る**データ収集やリスク評価等の取組を実施**します。

＜事業目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（２兆円［2025年まで］、５兆円［2030年まで］）

＜事業の内容＞

認定品目団体や調査会社等が連携し、輸送中における腐敗や品質劣化等の事故要因となる温度や湿度の変化、衝撃値、包材や鮮度保持技術等の活用状況等の**データ収集やリスク評価**を行うなど、**輸送リスク管理の推進のための取組**を実施します。

＜主な調査項目＞

①輸出に係る基本情報

- 年間見込み輸出額
- 貿易取引条件（CIF、DAPなど）
- 仕向国・地域やそれぞれの国・地域への輸送日数
- コンテナの種類（ドライ、リーファーなど）　等

②リスク評価・分析に必要な情報

- 位置情報
- 温度や湿度
- 衝撃値
- 照度
- 包材や鮮度保持技術等の活用状況　等

※事故発生時は、現地調査やヒアリング等で詳細な損害調査を実施

＜事業の流れ＞

国 →（委託）→ 民間団体等

＜事業イメージ＞

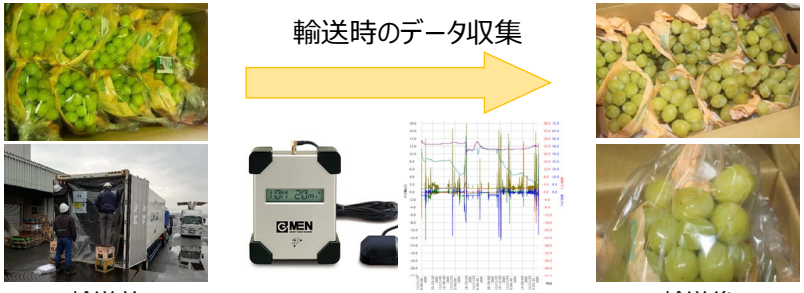
現状・課題

①輸送形態や輸送時間等が国内向けと大きく異なる。
②国内では起こることがない通関上のトラブルも多い。

→ **輸出には特有のリスクが多い**

取組イメージ

１．輸送過程で起こった事象や包材や鮮度保持技術等の有効性等に係るデータの収集



輸送前　　輸送後

２．リスク評価・分析、成果取りまとめ

①リスク評価・分析を行い、リスクの所在やリスク低減に寄与する輸送方法・条件を明確化。
②結果について、品目団体等を通じて、輸出事業者等にフィードバック。

リスク低減した輸送方法の実践　✖　**セーフティネットの充実**

［お問い合わせ先］輸出・国際局輸出企画課（03-6744-1779）